

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 2 日 (2020.4.2)

【公開番号】特開 2019-56649 (P2019-56649A)

【公開日】平成 31 年 4 月 11 日 (2019.4.11)

【年通号数】公開・登録公報 2019-014

【出願番号】特願 2017-181794 (P2017-181794)

【国際特許分類】

G 0 1 S 5/02 (2010.01)

E 0 5 B 49/00 (2006.01)

B 6 0 R 25/24 (2013.01)

H 0 4 Q 9/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 S 5/02 Z

E 0 5 B 49/00 J

B 6 0 R 25/24

H 0 4 Q 9/00 3 0 1 B

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 18 日 (2020.2.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 7 】

上述した、携帯機 2 の所在位置の判断は、所定の判定式に基づいて行われる。斯かる判定式は、予め行われた受信信号強度の測定結果から算出される。

携帯機 2 は、送信アンテナ 3 1 , 3 2 , 3 3 から送信される信号に対する受信信号強度を、車内及び車外における複数箇所にて測定する。車内及び車外で携帯機 2 によって測定された結果を、2 次元座標系として共に表す。このような 2 次元座標系上の測定結果の分布から、車内で測定された結果と、車外で測定された結果とを区画する式を求め、斯かる式を、携帯機 2 の所在位置の判断における判定式として用いる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 9 】

図 2 (A) では、車内で測定された結果に係る座標点と、車外で測定された結果に係る座標点とが混在しない 2 次元分布を示す。図 2 (A) の場合は、斯かる座標点の 2 次元分布から、車内で測定された結果 (座標点) と、車外で測定された結果 (座標点) とを区画する判定式 (図 2 (A) 中の実線で表す) を簡単に求めることができる。